

奇想天外 ほんない
歌舞音曲劇

平賀源内

時は江戸時代の中頃、場所は江戸両国の見せ物小屋。高松・志度浦が生んだ希代の天才・平賀源内は世界でも珍しい電気発生器エレキテルを完成させたものの、生み出す火花は何の役にも立たず、書生の吉次郎(後の司馬江漢)、弟子の絵師・小田野直武(秋田でスカウトしてきた)らとともに、エレキテルショウを始めて稼ぐことにした。

かつて源内の語った夢に導かれて『解体新書』翻訳の偉業を為し遂げた蘭学者・杉田玄白は馬鹿

げた見世物をやめるよう説得するが、未だ見果てぬ夢を追う源内の耳には届かない。そんな見世物小屋に、吉原に売られた娘・お千世が逃げ込んでくる。吉次郎らの助けで小屋に匿われることになったお千世は、そこで源内とその仲間たちの自由奔放な生き様に触れ、やがて自分も夢を見始める。だが時は江戸時代。庶民が夢見られる時代ではなかった……

「このつくだにこのつくだの食をべると縁起が良いといわれたかどか？」
とにかくはやらぬうなぎ屋の相談で、本日土用の丑の日というポスターを貼り出したが源内とこのことその習慣が200年以上経った今でも続いているのだからさかい。

土用の丑の日のうなぎ

初めは長崎の長崎屋からしばらく経った1755年(宝暦5年)ごろ源内が作成したらしい、歩行に伴い内蔵された振り子がゆれて歩行距離を測った。

万歩計も源内?

源内と言えはエレキテル、電気発生器の発明装置のこと、オンタで発明されたもので、壊れてしまったものの複製製作に成功した。明かりといえはロソクしか知らないような時代に、電気存在を伝える貴重なものだった。

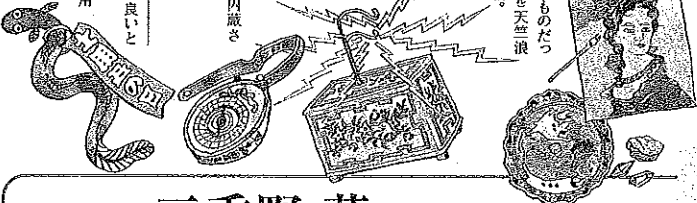
エレキテル

江戸時代中期、上方・大阪では西鶴、近松 芭蕉などの活躍する時代、江戸に源内ありと言わしめるほどの活躍ぶり、浄瑠璃や戯曲を作っている。江戸弁を使ったという点でも珍しいものだったようで、作者名がまた面白、風来山人、まこと、天竺浪人(まこと)とも福内泉外(まこと)などと遊び心満載。

文士としての源内

源内は、豪華や物産を全国から集めて、初めての物産展(博覧会)を開催したのは源内。国内の製業に役立つ、舟や水々などを採取研究し、それに西洋からの博物学の体系を持ち込み、融合させた取組を展開。魚や草の描き置は当時の職人さんたちが描いたのだから、今見てもすごい。

源内の物産展(博覧会)を開催



平賀源内役 三重野 葵

2003年わらび座入座。秋田県仙北市出身。わらび座若手俳優を代表する1人。2006年「坊っちゃん!!」で初主演。「火の鳥 鳳凰編」で主演の我王役、「アトム」でも主演のトキオ役を務め、2011年は「おもひでほろほろ」で元宝塚トップスター朝海ひかるの相手役トシオ役を演じ、新境地を開いた。2013年は「ブツダ」のタツタ役で絶頂を得ている。



「げんない」作・作詞・演出
横内 謙介



「馬鹿ひとりならず、必ずとなり有り」源内先生が、年若い友人の著作の序文に捧げた言葉です。論語の言葉「徳不孤、必有隣」を書き替えています。孔子より、源内先生の思想のほうがいいね。

鎖国中の江戸時代。侍が威張る時代。出口なしの島国で、見果てぬ夢を追いかけて、自由に生き抜いた先駆者です。いろんなことをやり過ぎて馬鹿、詐欺師とも誹られるけど、彼の周りで愉快な事がたくさん起こり、ステキな物が生まれます。そして多くの人が影響を受けて、自らの才能を開花させました。

歴史のお勉強じゃない、オモチャ箱をひっくり返したような、油断ならぬ「奇想天外ショウ」をお届けするつもりです。何しろ両国の見世物のオナラ芸人を芸術として真剣に論じた天才です。

フツの舞台上に仕上げたんじゃ先生に叱られます!

横内謙介プロフィール

1961年9月22日、東京生まれ。劇作家・演出家。劇団「扉座」主宰。神奈川県立厚木高校在籍時、名義貸して演劇部に入部。先輩に言われ、つかこうへい事務所の「熱海殺人事件」を翻して芝居に目覚める。処女作「山椒魚だぞ!」にて演劇コンクール全国大会出場。1982年、早稲田大学第一文学部在学中、厚木高校演劇部員だった岡森謙、六角精児、法政二高の部員だった杉山良一らと劇団「習人会議」を旗揚げ。'93年「扉座」と改名、現在に至る。劇団活動とともに、スーパー歌舞伎、ミュージカルなど、外部への作品提供多数。'92年、第36回岸田國士戯曲賞を「愚者には見えないラマンチャの王様の裸」で受賞。'99年「新・三国志」で大谷賞を史上最年少で受賞。2015年スーパー歌舞伎II「ワンプイス」で大谷賞を再び受賞。

振付
ラッキイ池田

今回はミュージカルの振付というよりも、彩木といっしょに源内一座の座員になったつもりで振付をしました。深沢先生の変幻自在で摩訶不思議なメロディーに踊らされて、それはそれはまさに至福の時間でした。



そんな源内座長が、僕らの振付に、ただひとつ注文をつけました。「最後にタオルを回すところ。あそこはわしの好きな竹とんぼのようにタオルを回せ!すれば、気持ちも大空に舞い、さらにタオルを振り上げればマトイのようで威勢がいいわい!これぞ、名付けて源内回しだ!ワッハッハ!」今によみがえった源内は、この時代に來ても「未来よやっ来て!」と、つねに叫んでいます!さあ、みなさんも源内に会ってください!

スタッフ

作・作詞・演出 横内 謙介 作曲 深沢 桂子
編曲 前嶋 康明 振付 ラッキイ池田・彩木エリ 浄瑠璃作曲 竹本葵太夫 浄瑠璃 竹本葵太夫・鶴澤 翔也 轟 大若 主弥 美術 金井勇一郎
照明 塚本 悟 音響 福地 達朗 効果 中村俊夫 衣装 樋口 藍
小道具 平野 忍 ヘアメイク 我妻 淳子 舞台監督 浪形 末緒
浄瑠璃協力 松竹株式会社 制作 わらび座 制作協力 坊っちゃん劇場

- 観覧には入場整理券が必要です。青森商工会議所(2階または5階受付)で直接入場整理券を受け取るか、申込書に必要事項をご記入の上 FAXをお送り下さい。FAXにてお申し込みの方には、入場整理券を郵送させていただきます。
- 未就学児のご入場はご遠慮ください。また、18歳未満のご入場については、保護者の同伴が必要となります。
- 入場整理券は無くなり次第終了とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

【わらび座】ほんない 平賀源内 申込書 申込先FAX番号: 017-775-3567

フリガナ		電話番号	()	整理券希望枚数
氏名				枚
住所				

※ご記入いただいた個人情報は、運営上必要な範囲でのみ使用いたします。
【お問合せ先】青森商工会議所 〒030-8515 青森市橋本2丁目2-17 TEL:017-734-1311